

## GAIA POWER ラジエター テスト 第1弾

車両 マークII クオリス 2.2(タイヤ館佐野仕様)  
 冷却チューン ローテンプサーモ(65°C開弁)、SEVラジエター、Dr.冷却くん、エビオ起爆水、HKSスーパークーラント

2007/4/7 気温 18→16°C 天気 曇り

### 装着前

走行時水温 71~86°C

走行テスト

①0→60km/h タイム計測

	タイム(sec)	距離	水温	備考
1	4.69	40m	74°C	
2	4.79	42m	76°C	
3	4.96	42m	78°C	エアコン入
4	4.75	40m	81°C	
5	4.75	41m	84°C	
平均A	4.788			

②POWER 106ps 条件:AT 1速→3速切替わるまで。

### 装着後(アッパーホース、10分後)

走行テスト

①0→60km/h タイム計測

	タイム(sec)	距離	水温	備考
1	4.72	43m	74°C	
2	4.72	43m	77°C	
3	4.68	43m	78°C	
4	4.72	44m	78°C	
5	4.74	43m	81°C	
平均B	4.716			

②POWER 114ps 条件:AT 1速→3速切替わるまで。

装着前	8ps+	7.5% UP	平均A-B	0.072 (短縮)
-----	------	---------	-------	------------

2007/4/8 気温 15→16°C 天気 晴れ

### 装着後(アッパーホース、翌日)

走行時水温 69~84°C

走行テスト

①0→60km/h タイム計測

	タイム(sec)	距離	水温	備考
1	4.68	47m	74°C	
2	4.70	46m	77°C	
3	4.72	46m	83°C	
4	4.63	44m	80°C	
5	4.56	43m	81°C	
平均C	4.658			

②POWER 133ps 条件:AT 1速→3速切替わるまで。

装着前	27ps+	25.5% up	平均A-C	0.13 (短縮)
装着後	19ps+	16.7% up	平均B-C	0.058 (短縮)

### フィーリング

水温上昇防止効果が向上し、走行性能が安定する。  
 トルクアップの他に、エアコンの効きが良くなったり、乗り心地が良くなった(?)  
 気がする。  
 予想通り、装着直後よりも、時間がある程度経過してからのほうが、効果が大きい。

第2弾は装着位置をアッパーホースからロアホースに移して検証予定。  
 SEVラジエターでは、取付位置がロアホースになっているので、アッパーホースよりも効果が大きいと予想される。  
 乞うご期待。

## GAIA POWER ラジエター テスト 第2弾

車両 マークII クオリス 2.2(タイヤ館佐野仕様)  
 冷却チューン ローテンプサーモ(65°C開弁)、SEVラジエター、Dr.冷却くん、エビオ

### 第1弾のデータ

4月7日	装着前	0→60km/h	4.788	天気:曇り 気温:18→16°C
		POWER	106ps	
	装着直後	0→60km/h	4.716	
		POWER	114ps	
4月8日	装着翌日	0→60km/h	4.658	天気:晴れ 気温:15→16°C
		POWER	133ps	
走行時水温		装着前	71~86°C	測定条件は下記に同じ
		装着後	69~84°C	

### いよいよ第2弾!!

2007/4/8 気温 19→20°C 天気 晴れ

装着後(ロアホース)

走行テスト

①0→60km/h タイム計測

	タイム(sec)	距離	水温	備考
1	4.59	44m	74°C	
2	4.67	45m	76°C	
3	4.62	44m	77°C	
4	4.63	44m	79°C	
5	4.60	43m	79°C	
平均D	4.622			

②POWER 132ps 条件:AT 1速→3速切替わるまで。

装着前	26ps+	20.8% up	平均A-D	0.166 (短縮)
装着直後	12ps+	7.5% up	平均B-D	0.094 (短縮)
装着翌日	1ps-	3.8% down	平均C-D	0.036 (短縮)

条件相違点: [ps測定] 燃料 スーパーマグナム(タンク 50%)→エネオスヴィーゴ(タンク 100%)

### フィーリング

車が動き始めた瞬間、「これはトルクが違う！」そう思った。POWERこそ数値に出なかったが、タイムでは装着前の測定を約0.17秒、前回は約0.04秒上回っている。気温の条件、重量条件が合えば、確実にPOWER UPLしているに違いない。やはり、アッパーホース装着時よりもロアホース装着時のほうが体感効果は大きい。

### 計測器

A'PEXi REV/SPEED メーター (オプション Gセンサー)

BLIZのパワーメーターもある(2ndカーに装備)が、加速度のみで計測している  
 ので、信頼性が薄い。A'PEXiのメーターなら、Gセンサー(オプション)で計測  
 するので、信頼性が高い。パワーセンサーを装備したければこちらがお勧め。  
 車種の適合があればこちらが良い。ちなみに自車はコンピューターチューン専門の  
 職人がセットアップ・サブコンピューター現車でセッティングした。その後、さらに  
 チューニングが進み、再度現車セッティングを実施した。

## GAIA POWER ラジエター テスト 第3弾

車両 マークII クオリス 2.2(タイヤ館佐野仕様)  
 冷却チューン ローテンプサーモ(65°C開弁)、SEVラジエター、Dr.冷却くん、エビオ

### 第1弾・第2弾のデータ

第1弾	4月7日	装着前	0→60km/h	4.788	天気:曇り 気温:18→16°C
			POWER	106ps	
		装着直後	0→60km/h	4.716	
			POWER	114ps	
	4月8日	装着翌日	0→60km/h	4.658	天気:晴れ 気温:15→16°C
			POWER	133ps	
走行時水温		装着前	71~86°C		
		装着後	69~84°C		
第2弾	4月8日	装着後	0→60km/h	4.622	天気:晴れ 気温:19→20°C
			POWER	132ps	

いよいよ第3段!!

2007/5/21 気温 16→18°C 天気 晴れ

装着後(アッパー・ロアホース2連装)

走行テスト

①0→60km/h タイム計測

	タイム(sec)	距離	水温	備考
1	4.56	45m	74°C	16°C
2	4.59	46m	75°C	17°C
3	4.63	46m	77°C	17°C
4	4.61	45m	77°C	17°C
5	4.43	42m	76°C	18°C
平均E	4.56			

②POWER 149ps 条件:AT 1速→3速切替わるまで。(装着前を100%とする)

装着後	タイム(sec)	距離	水温	備考
装着直後	114ps	8ps+	7.5% up	平均A-B 0.072 (短縮)
装着翌日	133ps	27ps+	25.5% up	平均A-C 0.130 (短縮)
装着(ロア)	132ps	26ps+	24.5% up	平均A-D 0.166 (短縮)
連装後	149ps	43ps+	40.6% up	平均A-E 0.224 (短縮)

第1弾→第2弾 条件相違点: [ps測定] 燃料 スーパーマグナム(タンク 50%)→エネオスヴィーゴ(タンク 100%)

第2弾→第3段 条件相違点: [ps測定] 燃料 エネオスヴィーゴ(タンク 100%)→スーパーマグナム(タンク 25%)

エアフィルター HKS→K&N ATF交換

フィーリング

トルクがかなり上がった感じ。最近夏日に熱ダレを起こしているような気がしてGAIA POWERを連装してみてもと考えた。

朝まだ気温が上がらないうちにテスト走行した結果がこれだ。

燃料が比較的軽いことも影響していると思うが、これほど変わるとは思わなかった。

実のところ、こんなに簡単にパワーアップしているのか疑問に思ったりもするが、

日光サーキット最終コーナー立ち上がりにはアクセルを全開にすると少しだが

ホイールスピンを起こす(POTENZA RE-01R 225/45/R17)ことからすると

まんざら嘘でもないと言われている。しかし、そこからまたかなりのパワーアップに

なっているので、今年の夏は「熱ダレ」に悩まされずに済みそう(?)である。